

■(普広院)足利義教 室町幕府6代将軍。籤引きで選ばれ、専制政治で公武から恐れられ、暗殺されて幕府衰退に拍車。

あしかがよしのり
義満太政大臣1394=

生。義満四男。母は醍醐寺三宝院坊官安芸法眼の女藤原慶子。義持の同母弟。

..... 1403 = 9歳 : 青蓮院に入り義円と称す。

足利義満没・1408=14歳 :

..... 1412 = 18歳 :

応永の外寇・1419=25歳 : 大僧正。准三后・天台座主となり、僧界の最高位に達す。

..... 1421 = 27歳 :

義教籤引将軍1428=34歳 : *義持が後継者指名拒否して死去したため、管領畠山満家以下の重臣が相談、義満の子の中からクジによって選ぶこととし、石清水八幡宮の神前で開き、その結果後継者と定まる。還俗して義宣と改名、判始・評定始・沙汰始などを行い、就任早々、廃止されていた評定衆・引付頭人の再設を命じ、

播磨国一揆・1429=35歳 : *征夷大將軍に任じられたが、義宣の名が「世を忍ぶ」に通ずると嫌い、義教と改名。次第に將軍専制への志向を強め、將軍とその奉行衆によって運営する体制や親衛軍の体制を整備。幕府の年中行事や職制も整えたが、乱れた朝廷の風儀も正し、出仕の規定を厳格に定めた。男女関係の不祥事件にも厳罰主義を貫き、

尚氏王統確立1430 = 36歳 :

明貿易回復・1432=38歳 : 自立性を強めた関東公方を牽制するため、幕府扶持衆を優遇し、信濃や駿河など境界地帯の守護を助け、富士遊覧と称して群臣を率いて駿河に下向してその威を示し、九州の太友・少弐などの諸大名を抑えるために防長の内内氏を利用し、中国・四国の武士に持世の支持を命じて九州の統一を進める。

..... 1433=39歳 : 絵巻への関心がピークに達し、「神功皇后縁起絵巻」「菅田宗廟縁起絵巻」を菅田八幡宮に奉納。 **「義教を抑えてきた斯波義淳・畠山満家が死去すると、**

世阿弥配流・1434=40歳 : 山門の衆徒が幕府に讞訴すると諸大名に命じて撃退、関東の持氏に通じているとの風聞に、主謀者を欺き招いて首を刎ね、20余名の僧が根本中堂に火を放って自殺する事件に発展するなど、 ***恐怖政治が極まる。**

..... 1435=42歳 : さらに、三宝院満済が死去して、病的な恐怖政治への道につき進む。

..... 1437=43歳 : 関東公方持氏追討を狙い、持氏と関東管領上杉憲実の対立を機に、一色義貫・土岐持頼を大和の陣中で殺させている。弟の大覚寺義昭を大和に追い、

永享の乱始・1438=44歳 : 管理してきた義満以来の一大絵巻コレクションを後花園天皇のもとに貸出し、一気に公開されるようになる。討伐の動員令を発し、上杉憲実を援け、

永享の乱終・1439 = 45歳 : 持氏を自害させた(永享の乱)。

結城合戦・1440=46歳 : 一色義貫らを殺し、持氏の遺児春王・安王を迎えて挙兵した結城氏朝を攻め、半年の包囲戦ののち、

嘉吉の乱・1441=47歳 : これを陥れ、春王らを殺した(結城合戦)。島津貴久に命じて自害させるなどして、 ***赤松則村の曾孫赤松満祐の不安と恨みを買ひ、猿楽見物に赤松邸に招かれた義教は、突然赤松満祐に殺された(嘉吉の変)。**

焼跡から拾い出された首なしの遺骸は足利家の菩提寺等持院に納められ、位牌は相国寺普広院に安置された。満祐が播磨に持ち帰った義教の首は安国寺に葬られた。現在兵庫県東条町にある安国寺裏手の宝篋印塔は義教の首塚といわれる。子女は義勝はじめ男子11人、女子8人に及ぶ。